

地理歴史・公民・数学

(1～60ページ)

注 意

- 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
- この問題用紙には、次の5科目の問題が収められています。
 地理総合・地理探究 (1～16ページ)
 歴史総合・日本史探究 (17～30ページ)
 歴史総合・世界史探究 (31～40ページ)
 公共，政治・経済 (41～52ページ)
 数 学 (53～60ページ)
- 5科目の中から1科目を選択し、解答は解答用紙にマークしなさい。解答用紙は5科目共通なので、科目によっては使用しない解答欄があります。
- 解答用紙に受験番号・氏名・選択科目を記入しなさい。
 受験番号と選択科目は、下記の「受験番号欄記入例」「選択科目欄記入例」に従って正確にマークしなさい。
- 試験時間は 60分 です。
- 試験開始後、問題用紙に不備 (ページのふぞろい・印刷不鮮明など) があったら申し出なさい。
- 問題の内容についての質問には、いっさい応じられません。

解答用紙の受験番号欄記入例・選択科目欄記入例

数字の位置	受 験 番 号				
	万	千	百	十	一
0	2	/	9	0	/
1	①	●	①	①	●
2	●	②	②	②	②
3	③	③	③	③	③
4	④	④	④	④	④
5	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤
6	⑥	⑥	⑥	⑥	⑥
7	⑦	⑦	⑦	⑦	⑦
8	⑧	⑧	⑧	⑧	⑧
9	⑨	⑨	●	⑨	⑨

数字の位置に注意してマークしなさい

「数学」を選択した場合

選 択 科 目				
○	○	○	○	●
地理総合・地理探究	歴史総合・日本史探究	歴史総合・世界史探究	公共，政治・経済	数 学

必ずマークしなさい

マーク式解答欄記入上の注意

- 解答は、HBの黒鉛筆を使用して丁寧にマークしなさい。
 《マーク例》
 良い例 ●
 悪い例 ○ × ◎ ○
- 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで、きれいにマークを消し取りなさい。
- 所定の記入欄以外には、何も記入してはいけません。
- 解答用紙を汚したり、折り曲げたりしてはいけません。

歴史総合・日本史探究

I 次の〔表〕・〔文章A〕・〔文章B〕を読み、**1**～**10**の問いに答えなさい。

〔表〕 令に規定された税負担

区分	正丁	(イ)	(ウ)
租 (ア)	田1段につき稲2束2把	正丁に同じ	正丁に同じ
(エ)	都の労役10日にかえ、布2丈6尺	なし	正丁の1/2
(オ)	絹・絁・糸など郷土の産物のうち一種を一定量	正丁の1/4	正丁の1/2

1 下線部(ア)に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 男女ともに田1段につき稲2束2把をおさめ、主に諸国で貯蔵された。
2. 男女ともに田1段につき稲2束2把をおさめ、主に都で貯蔵された。
3. 女性は田1段につき男性の1/3の量をおさめ、主に諸国で貯蔵された。
4. 女性は田1段につき男性の1/3の量をおさめ、主に都で貯蔵された。

2 空欄 (イ)・(ウ) に記入すべき語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. (イ) 一中男 (ウ) 一少丁
2. (イ) 一老丁 (ウ) 一少丁
3. (イ) 一中男 (ウ) 一次丁
4. (イ) 一老丁 (ウ) 一次丁

3 空欄 (エ) に関する説明文として最も適切なものを、下の共通解答群の1～8から1つ選びなさい。

4 空欄 (オ) に関する説明文として最も適切なものを、下の共通解答群の1～8から1つ選びなさい。

共通解答群

1. 原則として中央から派遣された官僚が都に運んだ。
2. 主に刑部省におさめられた。
3. 6年ごとに作成される計帳に基づいて課された。
4. 原則として男女ともに課された。
5. 京・畿内には課されなかった。
6. 京・畿内のみに課された。
7. ほかに正丁は染料などの副物も納入した。
8. 8世紀後半には増額された。

- a. 人口増加による口分田不足をおぎない、また、税収を増加させるため、長屋王政権下において出された。
- b. 旧来の灌漑施設を利用して開墾した場合は本人一代、新たに灌漑施設を設けて未開地を開墾した場合は三世の間、墾田の所有を認めた。

1. 墾田は税が課されない不輸租田だった。
2. これにより、政府による墾田の管理が不可能になった。
3. 墾田の面積は位階に応じて制限された。
4. 道鏡が法王の時に出された。

〔文章B〕

10世紀後半以降、開発領主と呼ばれるものがあらわれた。彼らの中には所領にかかる税負担を逃れるため、所領を含む広大な土地を貴族や寺社に寄進し権力者を領主とする荘園として、自らは荘官となるものもいた。そして寄進を受けた荘園の領主は領家^(ケ)と呼ばれ、この荘園がさらに摂関家や天皇家に寄進された時、上級の領主は本家^(コ)と呼ばれた。荘園の中には、貴族や寺社の権威を背景に、不輸^(サ)を認めてもらう荘園が増加した。やがて、不入の特権^(シ)を得る荘園も多くなっていった。

- 8 下線部(ケ)・(コ)のうち、実質的な支配権を持ち、より大きな影響力を行使するものを何というか。最も適切なものを次の1～4から1つ選びなさい。

1. 預 所 2. 本 所 3. 下 司 4. 保 司

- 9 下線部(サ)に関する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

a. 太政官符や民部省符で定められた官省符荘では引き続き税の納入が求められた。
b. 国司によって不輸を認められた荘園を国免荘といった。

1. a・bとも正文である。 2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。 4. a・bとも誤文である。

- 10 下線部(シ)の説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 検田使などの使者の立ち入りは認められたうえ、後には警察権の介入も認められた。
2. 検田使などの使者の立ち入りと警察権の介入は認められたが、後には検田使などの使者の立ち入りは認められなくなった。
3. 検田使などの使者の立ち入りと警察権の介入は認められなかったが、後には警察権の介入は認められるようになった。
4. 検田使などの使者の立ち入りは認められず、後には警察権の排除まで拡大された。

※墨消し部分は著作権の都合上、公開できません。

〔史料 A〕

- 11 下線部(ア)に関する説明文 a と b の正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の 1～4 から 1 つ選びなさい。

- a. この「謀叛」の時に平清盛と平忠正が対立した。
- b. この「謀叛」の時に藤原忠通と藤原頼長が対立した。

- b. この「謀叛」の時に藤原忠通と藤原頼長が対立した。

1. $a \cdot b$ とも正文である。
2. a は正文であり b は誤文である。
3. a は誤文であり b は正文である。
4. $a \cdot b$ とも誤文である。

2. aは正文でありbは誤文である。

3. aは誤文でありbは正文である。

4. $a \cdot b$ とも誤文である。

- 12 空欄 (イ) に入る語句として最も適切なものを、次の1～6から1つ選びなさい。

1. 武 蔵 2. 相 模 3. 上 総 4. 安 房 5. 伊 豆 6. 甲 斐

- 13 下線部(ウ)の作者として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 九条頼嗣 2. 九条頼経 3. 九条道家 4. 九条兼実

- 14** 【史料A】に関連して、「治承四年」とその前後の出来事に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 鹿ヶ谷の陰謀により、僧の西行らが処罰された。
2. 鎌倉に侍所が設置され、三善康信が別当に任じられた。
3. 平重衡が東大寺をはじめとする南都を焼き打ちした。
4. 長門国の一の谷の戦いで源義経が平氏軍を破った。

2. 鎌倉に侍所が設置され、三善康信が別当に任じられた。

3. 平重衡が東大寺をはじめとする南都を焼き打ちした。

4. 長門国の一の谷の戦いで源義経が平氏軍を破った。

〔史料B〕



15 下線部(エ)に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 持明院統の後亀山天皇が大覚寺統の後小松天皇へ譲位した。
2. 持明院統の後小松天皇が大覚寺統の後亀山天皇へ譲位した。
3. 大覚寺統の後亀山天皇が持明院統の後小松天皇へ譲位した。
4. 大覚寺統の後小松天皇が持明院統の後亀山天皇へ譲位した。

16 下線部(エ)を主導した人物に関する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- a. 山陽、山陰地方に勢力を持っていた山名氏清を滅ぼした。
b. 禅僧の夢窓疎石に帰依し、京都に天龍寺を建立した。

1. a・bとも正文である。
2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。
4. a・bとも誤文である。

17 下線部(オ)に関する以下の説明文の空欄〔a〕・〔b〕に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～6から1つ選びなさい。

〔史料B〕の長講堂は〔a〕が持仏堂に寄進した莊園群のことであり、〔b〕が皇女に伝えた八条院領とともに大規模な天皇家領莊園群として知られる。

1. 〔a〕— 後白河上皇 〔b〕— 鳥羽上皇
2. 〔a〕— 後白河上皇 〔b〕— 白河上皇
3. 〔a〕— 白河上皇 〔b〕— 後白河上皇
4. 〔a〕— 白河上皇 〔b〕— 鳥羽上皇
5. 〔a〕— 鳥羽上皇 〔b〕— 後白河上皇
6. 〔a〕— 鳥羽上皇 〔b〕— 白河上皇

〔史料C〕

18 〔史料C〕の出来事に関する説明として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1. 土民が徳政を要求した一揆 | 2. 一向宗門徒による一揆 |
| 3. 日蓮宗信者による一揆 | 4. 村の代表者が要求を訴えた一揆 |

19 下線部(カ)の人物の地位として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 管 領 | 2. 所 司 | 3. 地 頭 | 4. 守 護 |
|--------|--------|--------|--------|

20 〔史料C〕を含む出来事を左から古い順に並べたものとして最も適切なものを、次の1～6から1つ選びなさい。

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. 〔史料C〕の出来事 | → 応仁の乱が始まる | → 享徳の乱が始まる |
| 2. 〔史料C〕の出来事 | → 享徳の乱が始まる | → 応仁の乱が始まる |
| 3. 応仁の乱が始まる | → 〔史料C〕の出来事 | → 享徳の乱が始まる |
| 4. 享徳の乱が始まる | → 〔史料C〕の出来事 | → 応仁の乱が始まる |
| 5. 応仁の乱が始まる | → 享徳の乱が始まる | → 〔史料C〕の出来事 |
| 6. 享徳の乱が始まる | → 応仁の乱が始まる | → 〔史料C〕の出来事 |

Ⅲ 次の〔文章A〕～〔文章C〕を読み、21～30の問いに答えなさい。

〔文章A〕

江戸時代、大名とその家臣との関係をみると、大名は一円支配を強化し、有力家臣たちを城下町に集住させて、藩の政務を分担させていった。これは、大名による領地や領民たちを支配する力が徐々に強化され、藩権力が確立していく一つの事例となる。

次に、幕藩社会の構造をみてみよう。村あるいは町、さらにその内部にある組合など、さまざまな集団が社会を構成し、それを武士たちが支配した。幕府は百姓の経営を安定させるための政策を打ち出した。17世紀前半の政策では、ウ。そのほか、幕府や大名は農村の生産性を高めるため、治水・灌漑工事の実施や新田開発を進めていった。

生産力の向上の点では、文字による知識の増加も見逃せない。江戸時代の文化では、公家や武家、僧侶のみならず、一般の町人、富裕百姓たちも文化の担い手となったことに特徴がある。元禄文化を例にすると、日本独自の文化の成熟と実学の発展があげられる。前者は「鎖国」と呼ばれる状態が背景となっている。後者では、宮崎安貞『(才)』や貝原益軒『(力)』^(工)などが、ものごとを合理的かつ現実的に見据えるなかで著された。

- 21** 下線部(ア)に関する説明文 **a** と **b** の正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の 1～4 から 1 つ選びなさい。

- a. 17世紀半ばになると、家臣たちに領地を与えて領民支配を認める地方知行制は減少した。
- b. 家臣たちの収入は、家臣が独自に集める蔵米のため、家臣の俸禄は藩財政に影響しなかった。

1. $a \cdot b$ とも正文である。
2. a は正文であり b は誤文である。
3. a は誤文であり b は正文である。
4. $a \cdot b$ とも誤文である。

- 22** 下線部(イ)に関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

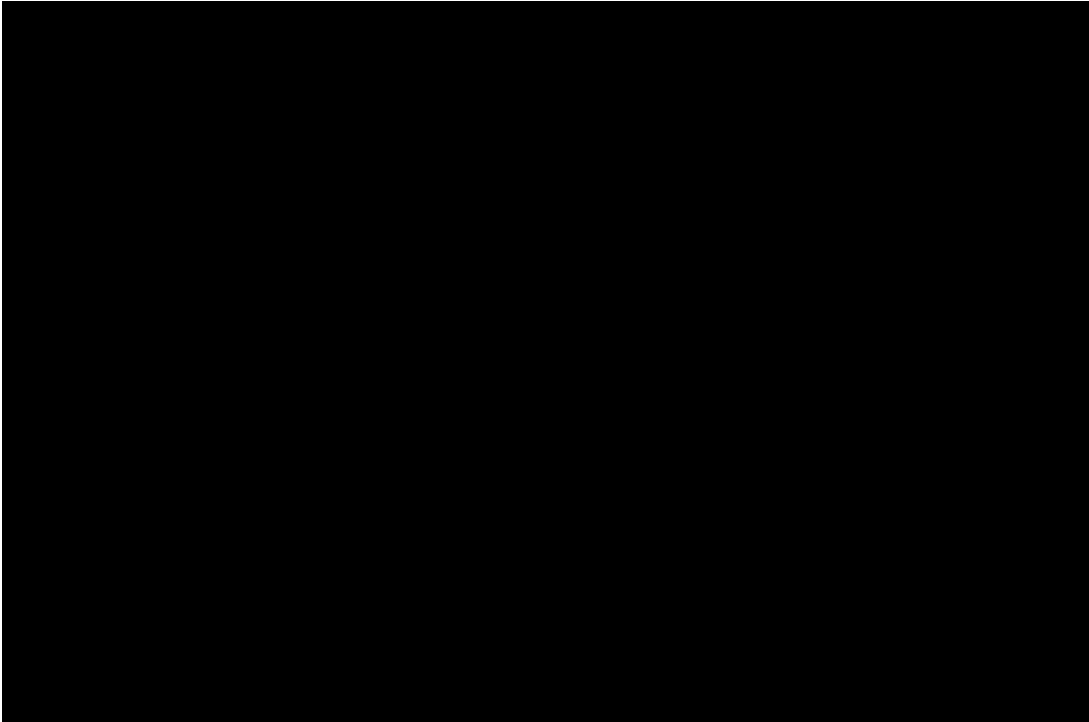
1. 江戸時代の社会秩序では、僧侶や神職などの宗教者は町人として編成された。
2. 「えた」と呼ばれる身分の多くは、町人と百姓と同じ町や村で生活し、手工業などに携わっていた。
3. 村は村方三役を中心に自治的に運営され、村運営の経費は領主から与えられた。
4. 本百姓は田畑を持った戸主として年貢や諸役を負担し、村の運営に参加できた。

- 23 空欄 (ウ) に入る文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 人返しの法を出すことで、江戸へ入った貧民を強制的に村へ戻した
2. 貨幣経済に巻き込まれないようにするために、質流地禁止令を発令した
3. 田畑永代売買の禁止を発令することで、百姓が田畑を喪失することを防ごうとした
4. 義倉や社倉を村ごとに作らせるだけでなく、大名も1万石につき50石の俵米を命ぜられた

- 24 下線部(エ)に関連して、次に掲げる〔都市図〕に描かれた都市に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

〔都市図〕



1. イギリス東インド会社の支店がこの都市に置かれた。
2. 幕府は、この都市に雑居していた清国人を、都市の一角に集住させた。
3. 糸割符制度が設けられた当初、この都市の商人は含まれなかった。
4. ロシア使節ラクスマンがこの都市へ来航し、通商を求めてきた。

- 25 空欄〔オ〕・〔カ〕に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～6から1つ選びなさい。

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 〔オ〕 — 農業全書 | 〔カ〕 — 農政本論 |
| 2. 〔オ〕 — 農政本論 | 〔カ〕 — 農業全書 |
| 3. 〔オ〕 — 農業全書 | 〔カ〕 — 大和本草 |
| 4. 〔オ〕 — 大和本草 | 〔カ〕 — 農業全書 |
| 5. 〔オ〕 — 大和本草 | 〔カ〕 — 農政本論 |
| 6. 〔オ〕 — 農政本論 | 〔カ〕 — 大和本草 |

〔文章B〕

17世紀後半以降、商品経済の発展、商業的農業の展開による農村社会の変化がみられ、さらに百姓から^(キ)の年貢米を経済基盤としていた武家の財政の変化も現れていた。

享保の改革により、幕府財政の再建には一定の成果が見られたが、物価問題は解決せず、また飢饉などもあり、江戸では打ちこわしなどが起こった。その後、農村における経済格差はさらに拡大し、田沼意次から^(ク)寛政の改革の時期、田沼時代に重商主義的政策へ転換したが、寛政の改革はその田沼政治を改める政策をとった。寛政の改革は幕府政治の引き締めを実現した点もあったが、厳しい倹約や規制に対する反発も多かった。地方でも藩の政治が危機を迎え、熊本の細川重賢、米沢の上杉治憲など「名君」が藩政改革につとめたのである。

農村社会では、天明の飢饉などをきっかけに百姓一揆や打ちこわしが頻発した。百姓一揆の性格は時期とともに変化し、17世紀の段階は重税につながる検地などへの反対が多かったが、18世紀になると年貢の増徴や専売制への反対、さらに19世紀になると社会変革を求めるものが多くなった。^(ケ)百姓たちによる集団行動は、非合法的な百姓一揆の形態だけではなく、話し合って取り決めに成文化するような形態、合法的な訴願運動などもみられた。

26 下線部(キ)に関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 土地を集積して地主になる農民や、金融や商業なども営む農民が現れた。
2. 年貢米による税の徴収を、貨幣による税の徴収へと切り替えた。
3. 旗本や御家人に払う俸禄(家禄)の不足により、幕府は家禄を全廃した。
4. 幕府は質流れ地などを買い取り、土地を失った農民へ再分配した。

27 下線部(ク)の時期の文化に関する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. このころから、柄井川柳の川柳、西山宗因らの俳諧がさかんになった。
2. 寛政の改革の時に処罰された作家として、洒落本作家の山東京伝がいる。
3. 工藤平助は、著書『海国兵談』で幕政を批判したとの理由により処罰された。
4. 喜多川歌麿や菱川師宣が、美人画などの浮世絵を多数描いている。

28 下線部(ケ)に関連する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- a. 文政期には、菜種などの流通自由化を求める国訴が畿内を中心に起こった。
b. 村方騒動は、村の代表者を決めて訴願する代表越訴型一揆の一形態である。

1. a・bとも正文である。
2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。
4. a・bとも誤文である。

〔文章C〕

文政期に入ると、幕府の支出が増大し、生活が華美になっていった。いわゆる化政文化では、商人たちの活動の活発化による全国的な物資流通、出版物の普及、都市の文化人と各地の豪農や豪商たちとの交流などがみられた。

天明の飢饉後、文政期に至るまで天候の安定などもあり農業生産は順調だったが、天保期に起こった凶作による米不足、その後の飢饉などで農村部には困窮する者たちがあふれた。飢饉の影響が農村や都市を襲ったにもかかわらず、幕府や藩は有効な政策を立てることができなかった。三都のなかの大坂では大塩平八郎(サ)らによる武装蜂起があり、武士が武力に訴えた抵抗を見せたことは、幕府や藩に大きな影響を与えた。相次いで起こる国内騒擾と、外国船の来航など外交問題への対応として、幕府は水野忠邦を中心とした天保の改革を進めることになった。

29 下線部(コ)に関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 信濃出身の小林一茶が、村人たちの生活を俳句にした。
2. 菅江真澄が、北国の生活や自然を描く『北越雪譜』を著した。
3. ドイツ人医師ケンベルが、長崎に鳴滝塾をつくり、医学や博物学を教えた。
4. 柳亭種彦が、合巻である『南総里見八犬伝』を著した。

30 下線部(サ)の影響を受けて生田万が襲った陣屋が所在する国として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 武蔵国 | 2. 越前国 | 3. 信濃国 | 4. 越後国 |
|--------|--------|--------|--------|

Ⅳ 次の〔略年表〕・〔表〕を読み、**31**～**45**の問いに答えなさい。

〔略年表〕

- | | | |
|---|-------|-----------------------------------|
| ① | 1609年 | 島津氏が琉球に出兵する。 |
| ② | 1871年 | 台湾で琉球漂流民殺害事件が発生する。 |
| ③ | 1872年 | 明治政府が琉球藩を置く。 |
| ④ | 1879年 | 琉球藩を廃止して沖縄県を置く。 |
| ⑤ | 1909年 | 沖縄県に府県制が実施される。 |
| ⑥ | 1912年 | 沖縄県において最初の衆議院議員選挙が実施される。 |
| ⑦ | 1945年 | アメリカ軍が沖縄本島に上陸する(沖縄戦)。 |
| ⑧ | 1952年 | サンフランシスコ平和条約発効。沖縄はアメリカの施政権下に置かれる。 |
| ⑨ | 1969年 | 日米首脳会談にて沖縄の日本への復帰方針が決定(日米共同声明)。 |
| | 1971年 | 沖縄返還協定が調印される。 |
| ⑩ | 1972年 | 沖縄が日本に復帰する。 |
| | 2022年 | 沖縄復帰50周年記念式典が開催される。 |

- 31** 〔略年表〕の①に関連する説明文 **a** と **b** の正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の 1～4 から 1 つ選びなさい。

- | |
|---|
| a. 琉球は徳川家の将軍の代替わりや、琉球の国王の代替わりの際に江戸に使節を送った。 |
| b. 島津氏に服属した琉球は、明(のちに清)への朝貢を中止した。 |

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. a ・ b とも正文である。 | 2. a は正文であり b は誤文である。 |
| 3. a は誤文であり b は正文である。 | 4. a ・ b とも誤文である。 |

- 32** 〔略年表〕の②を原因として発生した台湾出兵に関する説明文として最も適切なものを、次の 1～4 から 1 つ選びなさい。

1. 台湾への出兵の可否をめぐり明治政府は分裂し、板垣退助らが下野した。
2. 台湾出兵による日本と清との対立は、アメリカのグラント前大統領の調停により解決した。
3. 出兵の背景には、士族の明治政府に対する不満をそらそうという意図があった。
4. 調停の結果、日本は清に事実上の賠償金を支払い、台湾から撤兵した。

- 33** 〔略年表〕の③・④に関連する説明文 **a** と **b** の正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の 1～4 から 1 つ選びなさい。

- | |
|-----------------------------------|
| a. 琉球に対する宗主権を主張する清は強く反発した。 |
| b. 琉球国王の尚泰は初代の沖縄県知事に任命された。 |

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. a ・ b とも正文である。 | 2. a は正文であり b は誤文である。 |
| 3. a は誤文であり b は正文である。 | 4. a ・ b とも誤文である。 |

- 39 【略年表】の⑩に際し、沖縄の住民は今まで使用していたドル貨幣を日本の円貨幣に交換しなければならなかった。その際、下記のような政策が行われた。

- ・1971年10月9日に沖縄県民の保有するドルを調べる「通貨確認」を実施し、この時確認されたドルについては1ドル＝360円の交換レートで円に交換する。
- ・沖縄が日本に復帰した1972年5月15日からのドルと円の交換レートは1ドル＝305円とする。

このような政策が行われた要因に関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 日本が為替と資本の自由化を進め、IMF 8 条国に移行した。
2. アメリカがドルと金との交換を停止したのを契機にブレトン＝ウッズ体制が動揺した。
3. 原油価格の急騰により、急激なインフレーションが発生した。
4. 日米間で貿易摩擦問題が深刻化し、日本は国内市場の開放を迫られた。

〔表〕

友理子さんは、明治時代から大正時代にかけて海外に留学した人物について調べ、次の表を作成した。

分野	人名	留学国	主な事績
医学	北里柴三郎	ドイツ	「近代日本医学の父」と呼ばれる。伝染病研究所を創設。
医学	志賀 潔	ドイツ	(ア)
医学	野口英世	アメリカ	ロックフェラー医学研究所で細菌学を研究。
医学	森 鷗外	ドイツ	陸軍の軍医。文学の分野でも活躍。 (イ)
文学	夏目漱石	イギリス	(ウ) 日本の近代文学の代表的作家として活躍。
教育	津田梅子	アメリカ	日本最初の女性留学生の一人。帰国後女子英学塾を創設。
教育	新島 襄	アメリカ	アマースト大学を卒業。岩倉使節団にも参加。 (エ)
薬学	高峰譲吉	イギリス	アドレナリンを抽出。理化学研究所の設立者の一人。
工学	山辺丈夫	イギリス	(オ) 紡績技術を学び、大阪紡績会社の工務支配人となる。
建築	辰野金吾	イギリス	(カ) コンドルに学び、日本の近代建築の基礎を築く。

- 40 空欄 (ア) に入る文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 赤痢菌を発見。
2. 破傷風の血清療法を開発。
3. 梅毒や黄熱病の研究で成果を残す。
4. ビタミンB₁の抽出に成功。

41 下線部(イ)について、森鷗外の文学作品として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 『金色夜叉』 2. 『即興詩人』 3. 『一握の砂』 4. 『たけくらべ』

42 下線部(ウ)に関連する説明文aとbの正誤の組み合わせとして最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

- a. 坪内逍遙は、人間の内面や世相を客観的に描くべきとする写実主義を提唱した。
b. 日清戦争前後には、北村透谷らの刊行した『文学界』を中心に自然主義文学が盛んとなった。

1. a・bとも正文である。 2. aは正文でありbは誤文である。
3. aは誤文でありbは正文である。 4. a・bとも誤文である。

43 下線部(エ)について、岩倉使節団の一員として参加した人物として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 福沢諭吉 2. 伊藤博文 3. 大隈重信 4. 西郷従道

44 下線部(オ)に関連する説明文として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 紡績業とは、蚕の繭を原料として綿糸を生産する産業のことである。
2. 日本の綿糸生産量は、1897年に輸入量を上回るようになった。
3. 紡績業では、主に男性熟練工が生産を担っていた。
4. 第一次世界大戦の頃より、日本の紡績業は中国に本格的に進出した。

45 下線部(カ)の設計した建築物として最も適切なものを、次の1～4から1つ選びなさい。

1. 赤坂離宮 2. 日本銀行本店 3. ニコライ堂 4. 旧帝国ホテル